

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	老年看護学実習 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年次		学期及び曜時限	後期	教室名	各施設
担 当 教 員	梶原身和子 他	実務経験と その関連資格	総合病院で内科、外科、整形外科、脳神経外科にて 副看護師長として勤務			
<b>《授業科目における学習内容》</b> 老年期にある対象の身体的・精神的・社会的側面について、その人が生きてきた背景と生活の場の違いをふまえて理解することができる。						
<b>《成績評価の方法と基準》</b> 1) 実習評価は実習日数の3分の2以上を出席したものを対象とする。 2) 評価は実習の全ての経過を対象とし、評価表に基づいて行う。 3) 実習目標の達成状況ならびに以下のことを踏まえ総合的に評価を行う。 ①実習出席状況 ②事前学習 ③実習記録 ④実習態度						
<b>《使用教材(教科書)及び参考図書》</b> 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患論 医学書院 根拠と事故防止からみた老年看護技術 医学書院						
<b>《授業外における学習方法》</b> 実習前の事前課題、看護過程に取り組む						
<b>《履修に当たっての留意点》</b> 実習要項を熟読し実習準備を十分にしておいて下さい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
介護老人保健施設 1日目 実習形式	授業を通じての到達目標	・1日目の実習計画を発表し、指導を受けることができる。 ・できるだけ多くの利用者とコミュニケーションをとることができる。		施設資料	事前課題、看護過程に取り組む	
	各コマにおける授業予定	施設オリエンテーション、施設見学 ・実習中の留意事項 利用者とコミュニケーション日常生活援助、レクリエーション				
介護老人保健施設 5 7 2日目 実習形式	授業を通じての到達目標	1名について、プロセスレコードを活用してコミュニケーション場面を振り返ることができる。 ・指導者、教員の指導のもとレクリエーションを企画し実施することができる。 ・バイタルサイン測定を指導者または教員の指導のもとで行うことができる。		各テキスト	事前課題、看護過程に取り組む	
	各コマにおける授業予定	日常生活援助、機能訓練 バイタルサイン測定 利用者の健康状態と生活状況など 観察・記録 各職種および看護師の役割				
介護老人保健施設 8日目 実習形式	授業を通じての到達目標	・テーマに沿って自分の意見をまとめ発表できる。		各テキスト	事前課題、看護過程に取り組む	
	各コマにおける授業予定	最終カンファレンス ・実習を通しての学びと今後の自己の課題 ・「老年期にある人の生活について」 ・「介護老人保健施設の役割について」				
デイサービス 1日目 実習形式	授業を通じての到達目標	・1日目の実習計画を発表し、指導を受けることができる。 ・できるだけ多くの利用者とコミュニケーションをとることができる。		施設資料	事前課題、看護過程に取り組む	
	各コマにおける授業予定	・施設オリエンテーション、施設見学 ・実習中の留意事項 利用者とコミュニケーション 日常生活援助、レクリエーション				
デイサービス 2日目 実習形式	授業を通じての到達目標	・実習目標・行動計画の発表、指導を受けることができる。 ・できるだけ多くの利用者とコミュニケーションをとることができる。				

4 日 目	サ ー ビ ス	育 形 式	各コマに おける 授業予定 <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の送迎、コミュニケーション、レクリエーションなど</li> <li>・日常生活援助</li> <li>・観察、記録 ・各職種および看護師の役割</li> </ul>	各テキスト	専門課題、看護過程に取り 組む
-------------	------------------	-------------	---	-------	--------------------